

山崎中学校だより

No.5 (2学期始業式号)

令和8年9月1日

町田市立山崎中学校

校長 小平 千佐子

〒195-0074

町田市山崎町1445

042-793-1021

学校HPはこちら⇒



「やさしさ」と「厳しさ」が育てる絆～2学期のはじまりに～

副校長 治田 修幸

長い夏休みが明け、学校に生徒たちの元気な笑顔と活気が戻ってきました。ご家庭や地域のみなさまには、子どもたちの充実した夏休みを温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

さて、夏休み前の終業式で、私は「この夏、Official髭男dism（髭男）のライブに行きます」とお話ししました。今回は、そのライブと、そこで改めて感じた「仲間との絆」についてお話ししたいと思います。

ライブでは、2万人が集まる大きな会場で、ボーカルの藤原聡さんが語った言葉が強く印象に残りました。

「会場の一番後ろまで伝え漏れのないように届けたい。今日だけの特別な思い出を、ここにいるみんなと作り上げたい。」



その言葉どおり、一曲一曲、一音一音に込められた誠実な思いが会場全体に広がり、大きな感動を生み出していました。この聴き手に対する誠実な思いがあるからこそ、髭男の音楽は多くの人の心を動かすのだと実感しました。

その数日後、音楽プロデューサー・蔦谷好位置さんの講演を聞く機会があり、髭男にまつわる興味深いエピソードを知りました。

髭男がまだ世の中に広く知られていなかった頃、蔦谷さんは藤原さんに「今のドラムはバンドの足を引っ張っている。メンバーを変えた方がいいのではないか」と提案したそうです。しかし、藤原さんはその提案をきっぱりと断りました。

「今のこの4人の絆を大切にしたい。この4人だからこそ、自分たちの音楽がつかれるんだ。」

藤原さんはそう信じ、ドラムの松浦匡希さんをはじめとする4人のメンバーで進む道を選びました。

数年後、蔦谷さんは髭男のライブで、松浦さんの素晴らしいドラム演奏を聴くことになりました。かつてとは比べものにならないほどの上達ぶりに、蔦谷さんは自分の提案を深く反省し、藤原さんに謝罪しました。

すると藤原さんは、「あの言葉があったからこそ、自分は松浦を厳しく叱咤激励することができた。あの言葉に本当に感謝している」と答えたそうです。

私はこの話を聞き、胸が熱くなりました。

藤原さんは、ただ「仲良し」でいることを大切にしたのではありません。仲間を信じ、最高の音楽をつくるために、時には厳しく向き合い、互いに努力を重ねてきたのです。

「仲間との絆を大切にする」とは、相手を甘やかすことでも、何でも許し合うことでもありません。相手を信じているからこそ、時には厳しいことを伝え、本音で向き合い、お互いを高め合うことです。そこから生まれる本物の絆が、人を大きく成長させるのだと思います。



2学期は、1年の中で最も長く、みなさんが大きく成長する学期です。特に「合唱祭」では、時には意見をぶつけ合いながら練習を重ね、全員で一つの目標に向かって、最高の合唱をつくりあげていきます。日々の学習や部活動でも、仲間との関わりの中で、悩んだり、葛藤したりすることがあるでしょう。そんなときこそ、相手を思いやる「やさしさ」と、互いを高めるために本音で向き合う「厳しさ」を大切にしてください。

髭男の4人が、4人だからこそ奏でられる音楽をつくったように、みなさんも、今の仲間だからこそ生み出せる最高の2学期を創り上げていきましょう。教職員一同、みなさんの挑戦と成長を全力で応援しています。

夏休み 都大会出場報告!

この夏休み期間、ソフトテニス部・卓球部・サッカー部が東京都大会に出場、吹奏楽部は東京都中学生吹奏楽コンクールに参加しました。

ソフトテニス部

7月21日（火）、ソフトテニス部が都大会（男子個人戦）に出場しました。当日は厳しい暑さに見舞われましたが、選手たちは強敵を前にしても物怖じせず、ペアで声を掛け合いながら最後まで全力でボールを追いました。日々の練習で培った息の合ったプレーと果敢な挑戦は、見る者の心を揺さぶる実に素晴らしいものでした。

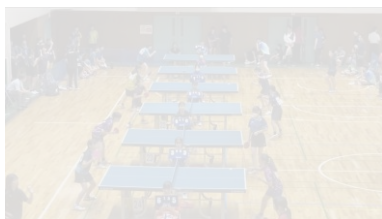
大舞台で堂々と渡り合った経験と深まった絆は、今後の学校生活や次の目標に向けた大きな糧となるはずです。全力で挑み抜いた選手たちの健闘に、心からの拍手を送ります。



卓球部

7月22日（水）、卓球部が都大会（女子個人戦）に出場しました。選手はこれまで重ねてきた鍛錬の成果を存分に発揮し、見事白星を挙げる目覚ましい活躍を見せました。たった一人で台に向かい、プレッシャーを跳ね除けて一球一球に集中する凛とした姿は、観戦していた人々の胸に深く刻まれました。

最高峰の舞台を一人で戦い抜いたこの実績は、これから進む次のステージにおける確固たる自信へと変わるはずです。誇らしく熱い戦いを見せてくれた選手へ、感謝とエールを贈ります。



⚽ サッカー部 ⚽

7月23日（木）、本校サッカー部が合同チームとして都大会に出場しました。遠くの練習場への移動や、チームづくりの難しさなど、いくつもの困難をみんなで力を合わせて乗り越えて手にした夢の舞台です。



当日はリードを奪う場面もあり、見る人をワクワクさせる見せ場をたくさん作りました。声を掛け合い、助け合って掴んだこの経験と絆は、これからの成長を支える大きな宝物です。大きな壁を乗り越え、最後まであきらめずに走り抜いた選手たちを、とても誇らしく思います。



🎷 吹奏楽部 🎷

7月29日（水）に行われた「東京都中学生吹奏楽コンクール」にて、本校の吹奏楽部が見事銀賞を受賞しました！

当日は、積み重ねてきた努力の成果が一つになった、心に響く美しい音色を会場いっぱいに響かせてくれました。また、夜遅い時間の帰校となったにもかかわらず、多くの保護者の皆様に楽器の搬入や片付けをお手伝いいただき、本当にありがとうございました。皆様の温かいサポートに心より感謝申し上げます。

この大舞台で得た達成感を胸に、これからも素敵なハーモニーを届けていきます。

🏠 7月後半のいろいろ 🏠

FC 町田ゼルビアより「記念公式試合球」を寄贈

7月14日（火）の生徒会朝礼時に、プロサッカークラブ「FC 町田ゼルビア」のみなさまが本校を訪れ、アジアの頂点を争う大会（ACLE）での準優勝を記念した、選手の直筆サインが入った「記念公式試合球」を寄贈してくださいました。この貴重なボールは、試合の写真と一緒に校内2階に展示されています。トップアスリートの熱い情熱を間近に感じながら、自分たちの夢や目標に向かって大きく羽ばたいていきましょう。

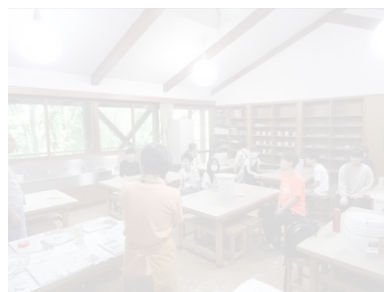


生徒会による全校レクを開催！～学年を超えた交流～

7月17日（金）の1時間目、生徒会主催による「全校レク」が開催されました。1年生から3年生までが交ざった合同チームをつくり、「借り人競争」で学校中が大きな歓声と笑顔に包まれました。「学年を超えた交流」は、生徒会役員たちが掲げた大切な公約の一つです。見事に有言実行を果たし、全校生徒がひとつになれる最高の時間を作り出しました。心温まる企画と準備で山中生みんなの絆を深めた生徒会のみなさん、本当にありがとうございました。

世界にひとつだけの作品 ～分教室「ゆめのき」より～

分教室「ゆめのき」では7月14日（火）に、4月に形を作ったお皿とカップの絵付けと釉薬（ゆうやく）がけを行うため、「ひなた村」へ行ってきました。生徒たちは色づけや絵描きに夢中になり、焼き上がりをワクワク思い浮かべながら楽しそうに色を選んでいました。掛け方や色によって表情が変わるのも、陶芸の奥深い魅力です。自分たちの手作りによる器は、当然世界にひとつだけのもの。本焼きを終えたお皿とカップでティーパーティーを開く日が楽しみです。



山中生の活躍



【卓球部】

町田市青少年 ジュニアカデット大会	女子個人ジュニア（高校3年生以下）	さん	準優勝
	女子個人カデット（中学2年生以下）	さん	3位

【パソコン部】

第85回文章入力スピード 認定試験	さん	準2級
	さん	4級



【吹奏楽部】

第66回東京都中学生吹奏楽コンクール	B組	銀賞
--------------------	----	----

【ソフトテニス部】

町田市中学校ソフトテニス 夏季研修大会	男子個人	さん・	さん	優勝
	女子個人	さん・	さん	優勝
		さん・	さん	準優勝

9月の予定

9/1	火	始業式 引取訓練	11	金	通学区域外保護者説明会1	21	月	敬老の日
2	水	給食始 あいさつキャンペーン(~4日)	12	土	土曜授業(5h) 通学区域外保護者説明会2	22	火	国民の休日
3	木		13	日		23	水	秋分の日
4	金		14	月	振替休業日	24	木	一斉委員会
5	土		15	火		25	金	中央委員会
6	日		16	水	小中合同研修会(七国山小)	26	土	
7	月		17	木	中間考査	27	日	
8	火	学校公開日(~12日)	18	金	中間考査	28	月	
9	水	道徳授業地区公開講座	19	土		29	火	議案書討議 一斉委員会
10	木	生徒会役員選挙	20	日		30	水	



保護者のみなさまへ

夏休み期間中、保護者のみなさまには、ご家庭での温かいサポートをいただき心より感謝申し上げます。2学期は行事や学習を通して、生徒が大きく成長する大切な時期です。教職員一同、力を合わせて支援してまいりますので、今学期もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

